

カンボジア王国コポン・チュナン州窯業支援事業の成果について

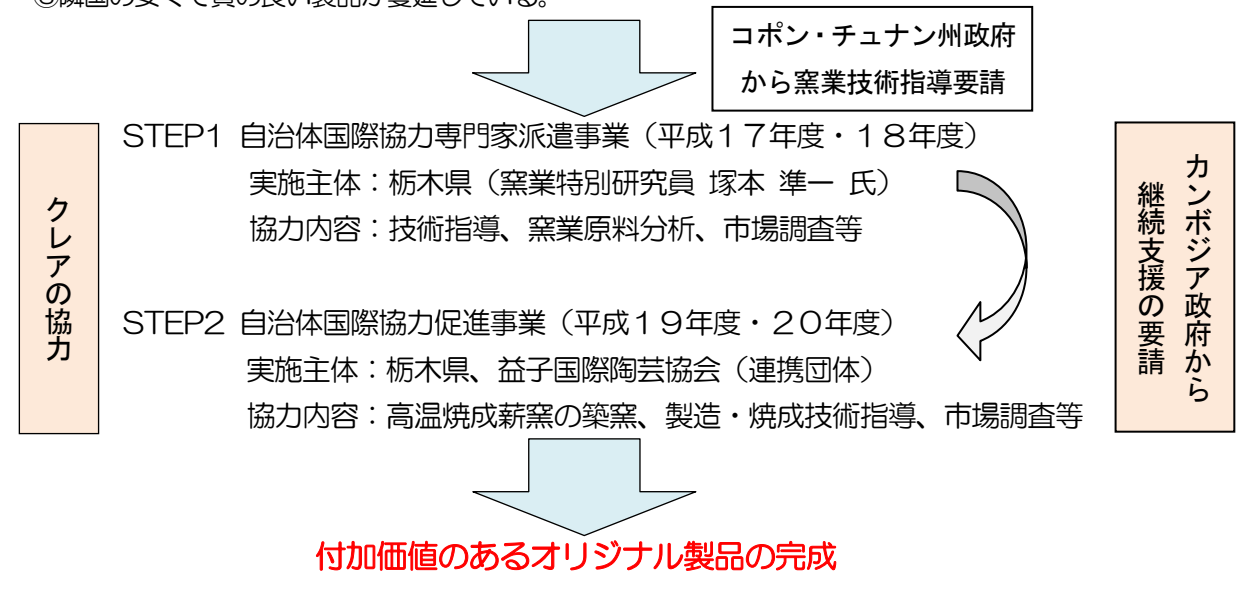
カンボジア王国コポン・チュナン州において、平成17年度から4年間、栃木県がクリアの国際協力2事業を活用し、地元益子焼きの技術を通じた窯業技術支援を行いました。

本協力事業により、栃木の益子焼きの技術とコポン・チュナン州の伝統を融合させた、付加価値のあるオリジナル製品完成といった、目に見える成果を挙げました。

<事業の概要>

〇背景

- ①土鍋の名産地であったコポン・チュナン州は、内戦等により、陶工（人）・技術共々廃れた。
- ②専門知識を持たない女性が昔ながらの製法で陶器を作っているが、素焼きでデザイン性が乏しい状況。
- ③隣国の安くて質の良い製品が蔓延している。



現在、クリア7階応接室において本事業の成果物を展示しています。クリアにお越しの際には、是非ともお立ち寄りください。



応接室の展示の様子